川崎造船所爭議の椿事から罷工團の大檢擧

制服私服の警官隊各本部を襲ひ賀川氏等百廿餘名引致

檢事も出動徹宵して檢擧を續く

陣容を立直し

一日より改めて堂々と飽く迄戰を續く

首腦者を失つて手も足も出ぬ罷工團

氣に引かへ警察側では愈々嚴しい警戒振り

乘り込んだ鈴木文治氏

自動車上の演説

大本營

萬歲を

屋内集會だけは漸く警察の諒解を得て

友愛會で直ちに演説會

罷工團

有吉知事調停せん

市縣議員等の勸告で起つ

屋内の集會だけでも許

煽動など以ての外…鈴木氏語る

賀川氏遂に檢事局送り

騷擾現行犯で

爭議以來の解雇約八百名

多くは熟練工で各社の大弱り

今回の勞働爭議が起つて以來卅一日迄に解雇された職工數は

川崎本工場百十八、兵庫分工場廿四、葺合分工場九、三菱電機同内燃機同造船各工場で二百七名、神戸製鋼所三百七十四、神戸瓦斯、ダンロップ會社廿四、…合計七百九十六名

…此他の被告者の顏ぶれは…（三十一日、神戸電話）

「…全に社會主義…日本の勞働運動は決して…」